



令和の
里海づくり

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)



ブルーカーボンの保全・モニタリングを通じた地元環境学習の機会増加と海辺のにぎわいづくり

地域の概要及び課題

【地域の概要】

- 長者ヶ崎：かつては磯根漁やマリンスポーツ、海の家で賑わっていた美しい海浜環境。
- 大量に発生する貝殻を砂に変える「砂製造基地」でもる。

【課題】

- 磯焼けなどに起因するブルーカーボンの減少により漁獲量（特に貝類）が激減、砂減少による深刻な海浜侵食（国土流失）も進行
- 海浜・海の魅力・活気が失われ、地域社会に大きな影響も

取組の実施体制、連携

役割	実施機関名	備考
申請機関	葉山町、IGES	共同申請
環境モニタリングの実施	IGES、テクノ・オリーブ株式会社、ラ・セーラ葉山	YELLOWSCAN社とコラボ
メタバース空間の整備	IGES、パスコ株式会社	共同開発
海辺のにぎわいづくり（海辺の図書館事業も含む）	葉山町環境課、教育総務課、IGES、葉山ボーイスカウト第1団、日本ビーチ文化振興協会	イベント等の共同実施
ブルーカーボンシンポジウム	主催：葉山町、共催：IGES、NPO法人日本ビーチ文化振興協会、一般社団法人カーボンリサイクルファンド	協力：富士通、ラ・セーラ葉山

活動地名

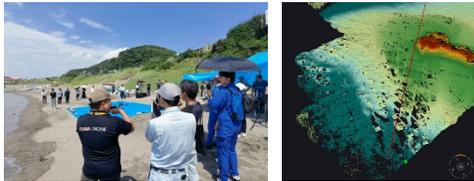
神奈川県三浦郡葉山町
長者ヶ崎



R6年度モデル事業における取組内容および成果（抜粋）

海の見える化

- グリーンレーザードローン測量による海底地形情報の取得



【成果】

長者ヶ崎の一定エリアにおける海底地形データを取得、見える化

環境プログラムの開発

- 長者ヶ崎環境データを活用したメタバース空間の整備



【成果】

上限50名が同時に環境学習、その他イベントができるバーチャル空間（憩いの場）の整備。

行政のフリースペースの活用

- 活用課題を抱えている行政のフリースペースを拠点とした環境学習環境の整備



【成果】

高精度航空写真パネルの設置、葉山の自然（山と海）について学ぶイベントの開催、メタバース空間の体験など。

住民環境意識の向上

- 藻場観察クルージングツアーの実施
- ブルーカーボンシンポジウムの開催



【成果】

企業参加者100人規模の団体を対象とした藻場観察会を実施。同日の午後は葉山町市民会館ホールにてブルーカーボンシンポジウムを開催

今後の課題および取組方針

- 継続的な環境モニタリングの実施、高度なデータベースの構築
- 環境プログラムの継続的な整備とアップグレード（例えば、メタバース空間の高度化、精緻化、多機能化、デジタルツイン化）
- 磯焼けのみならず、様々な社会課題も同時に解決できるフレームワークの構築（メタバース空間を活用したまちづくりへの貢献など）